

週刊 名古屋市議団ニュース ～南区版～



日本共産党 名古屋市議団

市議員 高橋ゆうすけ事務所

名古屋市南区氷室町15-13

TEL 052(692)4312

FAX 052(692)1466

名港議会議決算特別委員会 市民への負担増は許されぬ

1月28日(木)、名古屋港管理組合議会において、2014年度の決算について審議を行いました。高橋からは「国際バルク戦略港湾に係した環境調査ではどのような結果が出ているのか」「バルク貨物の取り扱い推移はどうなっているのか」など、現在名古屋港で進められている計画について質問しました。(「バルク」とはとうもろこしなどのバラ積み貨物のこと)管理組合側からは「環境基準値はおおむねクリアしている」「バルク貨物はここ数年全国的に減っている」

などの回答があり、環境基準はおおむねクリアと言っても、新たな埋め立てを行えば大きく環境は変化する、計画地は軟弱地盤であり地盤改良の必要も出てくる、またバルク取扱量が減っている中でバルク専用の埠頭建設のための埋め立てを行うことは到底理解できないものではなく認められないと意見を述べました。

また、この年は消費税が増税された年で、市民に負担を強いる料金改定が行われたのかについても質問、名古屋港水族館の年間入場パスなどの値上げを行った

と回答があり、増税によってレジャー控えもある中、更に負担を強いるような料金改定を行ったことについても認められないと意見を述べ、一般会計決算について反対しました。

他にも、老朽化の進んだ施設が増えてきていることから維持補修費が増えているが、安全を守るために新たな取り組みを行ったのか、水族館の魅力を伝えるための職員の充実を図ってきたのか、などについて質問、意見を述べました。

採決は3月定例会で行われます。

県営住宅の修繕を！ 県及び県住宅供給公社と懇談

1月29日(金)、県営住宅の諸問題について、日本共産党愛知県議団は愛知県及び愛知県住宅供給公社に申し入れ・懇談を行いました。懇談には県営住宅の住民の方や名古屋市議団も出席しました。

懇談では「手すりがかびており、塗料が飛び散ってしまう」「玄関の塗装は県でできないのか」「排水機能が低下している」など、住民からの切実な要望も出され、それぞれの項目について、当局から応えるという形式で進められました。

玄関については、原則と



して入居者が塗装することとなっている、手すりについては危険度に応じて塗装・修繕を行っていく、排水機能などは調査を行って適切に修繕を行っていきたいと回答がありました。

今年度、愛知県は修繕費を増額しましたが、まだまだ十分であり、今後より一層の充実を求めていく必要があります。

生活に関するご相談はお気軽に
高橋ゆうすけ事務所まで

民意無視！！ 議員の定数削減して報酬増やす！？

2月5日（金）、名古屋市議会の議会改革推進協議会が開かれ、議員定数及び議員報酬について話し合いが行われました。

名古屋市は現在議員定数75名（法令上は来88名まで選出可能）ですが、自民・民主・公明・減税はこの議員数を減らすことで「身を切る」と主張しています。

名古屋市議会基本条例では「各層の多様な民意を市政に反映させるために必要な人数を確保」とされており、現行定数は必要最小限の数です。定数削減をしなければ「多様な民意」を切ることになってしまう。

また議員報酬は現在、特例条例によって「当分の間」半額の800万円となっています（条例上は1633万円）。今回自民・民主・公明から、本来の年間報酬1633万円から期末手当（ボーナス）を除いた分を15%減らした1454万円にするという案が出され、2月定例会に条例案が出される動きとなっています。

また報道によると、河村市長は天守閣木造復元問題で争いたくないがために議員報酬の引き上げを容認するとする暗黙の了解をしているのではないかとの指摘もあります。

今行うべきは議員の報酬引き上げではなく市民の懐を温め、福祉を充実させる政策を進めることです。19日に開会する2月議会、暮らしやすい名古屋にするために力を尽くします。

ハッピー ついでと♪

「鬼は外？内？」

今年は尾張四観音の中で笠寺観音が恵方に当たるということで多くの方が笠寺へと足を運び、邪気を払いに来られていましたが、みなさんは節分、どう過ごされましたでしょうか。

さて、今日のテーマは「鬼は外？内？」。ご存じかもしれませんが、実は「節分」は年4回あります。季節の変わり目には邪気が生じるとされており、その邪気を払うための行事が行われていたそうですが、江戸時代頃からは寒さのピークである2月の節分が一般的になったということです。

この豆まきの際の掛け声、「鬼は外」というのが一般的ですが、実は「鬼は（も）内」と声をかけるケースもあります。一体何故かというのは地域によって差があるようですが、鬼が改心したから受け入れるといった言い伝えもあるようです。これは「悪を憎んで人を憎まず」という考え方だなあとつい関心しましたが、政治の場でも同じようなことが言えるだろうなあと思っています。政策上の違いでぶつかり合うような相手であっても、いずれ変わってくれることを信じて話し合いを続け、そして受け入れられる心の広さを持つ、そういった器を持ちたいと考えさせられます。

ちなみに大須観音では鬼の面が寺宝となっていますので、「鬼は外」は厳禁だということで、そういうのもおもしろいなと感じているところです。

高橋ゆうすけ 宣伝予定

2月
15日（月）呼続
18日（木）新瑞小橋
22日（月）道徳
25日（木）柴田
29日（月）大江

3月
3日（木）JR笠寺
7日（月）道徳
10日（木）鶴里

※毎週土曜日14時〜
新瑞橋ピアゴ前
(街頭署名行動)

高橋ゆうすけ 活動日誌

1月

- 28日（木）駅頭宣伝／名港議会決算特別委員会市議団学習
- 29日（金）県営住宅問題懇談／地域訪問
- 30日（土）熱田9条の会講演会
- 31日（日）地域訪問

2月

- 1日（月）公社対策特別委員会視察（大阪・京都）
- 2日（火）公社対策特別委員会視察（京都）
- 3日（水）笠寺観音節分会宣伝
- 4日（木）駅頭宣伝
- 5日（金）いじめシンポ打ち合わせ
- 6日（土）名南学区市政懇談会
- 7日（日）党南区後援会早春のつどい／地域訪問
- 8日（月）駅頭宣伝／市議団会議
- 9日（火）地域訪問／いじめシンポ打ち合わせ